



ご挨拶

利府ゴルフ倶楽部 理事長 **石橋保新**

公益財団法人・ジュニアゴルファー育成財団 理事長
一般社団法人・全日本高等学校・中学校ゴルフ連盟 副会長
パシフィックゴルフマネージメント株式会社 取締役
株式会社 平和 相談役（前社長）

会員各位におかれましては健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

又、日頃より利府ゴルフ倶楽部の運営に対して、深いご理解とご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年は、全国的に記録的な猛暑が続き、ゴルフ場においても芝の管理には例年以上に苦勞された事だと思えます。高温と乾燥害により現状を維持することすら出来なかったコースも数多く存在する中、利府ゴルフ倶楽部においても同様の状況にあったにも関わらず、幸いにも被害を最小限にとどめ、多くの会員様よりどこのコースよりもコンディションが良いとの声が私の耳にも届き、大変喜ばしい限りでした。これも会員の皆様のご理解と、日々コース管理作業に従事しているコース管理スタッフの努力と熱意の結晶と感じております。

昨年開催された「ミヤギテレビ杯ダンロップ女子オープン」は、第50回の記念すべき大会で有ったと同時に、利府ゴルフ倶楽部での開催も20回目となる節目の大会でもありました。

歴史ある本大会を振り返りますと、1973年に開催された第1回大会（当時の大会名は松島国際女子オープン）の樋口久子プロの優勝から始まり、利府ゴルフ倶楽部に会場を移して最初の2003年大会では、当時東北高校3年生であった宮里藍さんがアマチュア優勝し、ゴルフ界だけではなく国内中で大きな話題となりました。

この優勝をはじめとして、その後の宮里藍プロの活躍が、現在プロで活躍されている数多くの選手がゴルフを始めるきっかけとなったでしょうし、現在隆盛を極めている女子プロゴルフ界の始まりだったように思われます。

又、一昨年の山下美夢有選手が樹立した18ホールツアー最少ストローク「60」をマークし優勝した事も記憶に新しいかと思いますが、昨年の大会に於いても、現在の女子プロゴルフ界にて脚光を浴びております岩井姉妹の姉、岩井明愛プロが通算-13アンダーで、同ツアー史上4人目となる2週連続優勝、2023年度シーズンの3勝目を挙げる素晴らしい活躍ぶりでした。東北で開催されている唯一の女子プロゴルフトーナメントとして、これからも益々楽しみでございます。

末筆ではございますが、会員の皆様にとって、2024年のご健康と充実したクラブライフを過ごされることをご祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。



感謝

支配人 **川村 崇**

寒さも厳しい折、会員の皆様にはますますご隆盛のこととお喜び申し上げます。

日頃より当倶楽部の運営に対し格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は全国的な記録的な猛暑が続き、当倶楽部においても少なからずその影響があった中でも多くの会員様にご来場頂き、無事に営業を続けることが出来た事はひとえに会員の皆様の変らぬご理解とご愛顧の賜物であり、改めて深く感謝申し上げます。

また昨年は全国的にアフターコロナの1年であり大きな変化の年となりましたが、当倶楽部においてもメンバーラウンジの再開や早朝プレーの開始、Cool Cartの充実やWithGolfの定着等、変化に対応してきた1年でもありました。今後も柔軟かつスピーディーに変化への対応をするとともに、やはり会員の皆様が利府ゴルフ倶楽部の会員であることに誇りを持っていただけるよう、従業員一同努めてまいりますので引き続き会員の皆様の変らぬご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。